

丹寿の風

題字：丹寿荘(特養)利用者 菊川ちよ様

発行者

兵庫県丹波市市島町上竹田 2336-1

社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団 丹寿荘

電話 0795-85-3251

FAX 0795-85-0075



満足度の高い個別ケアの提供と地域に開かれた施設運営の推進に向けて

丹寿荘所長 笹谷 正康

丹寿荘所長の笹谷でございます。皆様方には、平素から当施設の運営に多大のご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当施設は、平成19年10月に高齢者総合福祉施設としてこの地に新築移転し、3年目を迎えております。

昨年度は、個性と魅力ある施設づくり計画の一環として、認知症ケアセミナーを開催するとともに、特別養護老人ホームにおいては利用者本位で質の高いサービスの提供の観点から、第三者評価を受審しました。

今年度は、「新経営10カ年計画～自律への新たな旅立ち～」を踏まえ、「介護予防からターミナルまでを支える高齢者総合福祉施設として、満足度の高い個別ケアの提供と、地域に開かれ、地域とともに歩む施設づくり」を推進してまいります。

その具体なものとして、①口腔ケアの充実やデイサービスセンターでのいきいきクラブの開催等を通じた利用者本位で質の高いサービスの提供 ②ご意見・ご要望・お褒めの言葉等の公表やグループホーム利用者の「元気100倍合唱団」コンサート活動支援等による個性と魅力ある施設の実現 ③高齢者ケアセミナーの開催やふれあいギャラリーの設置等による地域に開かれた施設運営の推進 ④人材こそが施設経営面での貴重な資源であることに鑑みた「人材育成と働きがいのある職場づくりの推進」などを進めていきたいと考えております。

皆様方におかれては、ますますのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

第三者評価受審する

昨年の11月に、兵庫県第三者評価を受審し、その結果が評価機関から通知されました。

施設サービス全項目(207項目)の達成率は96.5%であり、きわめて優秀という状況でした。

この結果に甘んじることなく、さらなるサービスの質の向上を図り、利用者様に満足して生活していただけるように努めてまいります。

評価機関と兵庫県知事からの受審証明書を玄関に掲示しています。また、結果の詳細については、ワムネットに公表されていますのでご覧ください。



デイサービスセンター 「いきいきクラブ」始める

いきいきとして心を弾ませていただけるデイサービスを目指し、これまでのレクリエーションに加え、クラブ活動の時間を設けての取り組みを今年度から始めました。

利用者様から希望を聴いて、職員の得意分野の活用や地域の各種ボランティア・専門の音楽療法等も取り入れながら、よりきめの細かい支援を目指しています。

これからも、それぞれの利用者様に楽しんでいただけるようクラブ活動の一層の充実に取り組んでまいります。



囲碁ボール

地域支援事業を新たに4月から開始

～身体障害者生活訓練事業～

在宅で生活されている身体障害者の方々を対象にした生活訓練事業を始めました。この事業は丹波市の委託事業で、当事業団が有する人材やノウハウ・施設機能などを活用して本年4月から新たに行うものです。

現在、7名の方々に毎月2回(第2水曜・第4金曜)当施設に来ていただき、専任職員2名配置のもと、理学療法士による機能訓練や体育指導員によるスポーツ、音楽療法士による音楽などを提供するほか、9月下旬には神戸方面への日帰り旅行も計画しております。

月2回の活動日には、皆さんの笑顔があふれ、いきいきとして機能訓練やスポーツ、音楽などに取り組んでおられます。



機能訓練

元気100倍 合唱団衣装制作風景から

グループホーム村いちばんの元気者では、「元気100倍合唱団」という、歌のグループを結成しています。現在、その合唱団の衣装を制作しています。

また、秋に行われる予定の「元気100倍屋台村」の販売用の作品も作っています。腕に自信のある利用者の方を中心に、スタッフと知恵を絞りながら、みなさん楽しく制作されています。

綺麗な柄の生地に「ちょっと派手すぎませんか？」と笑顔で制作に取り掛かっておられます。



屋台村での販売にむけて、「シュシュ(髪止め)」も作っています。とても綺麗な物が出来ました。



ユニット活動の紹介⑥

特費では、毎月様々なユニット活動を実施しています。中でも、お菓子作りはとても人気のある行事です。職員と利用者様が協力してお菓子を作り、全員で試食します。女性の利用者様のほとんどが炊事の経験があることから、とても積極的に参加されます。男性の利用者様は、試食を待ち遠しく見学されています。「作る喜び」「食べる楽しみ」が1人でも多くの利用者様の生き甲斐に繋がることを願って、今後も様々なユニット活動を実施したいと考えております。



おはぎづくり

「詩吟」

デイサービス「いきいきクラブ」の一環として、近くにお住まいの方がボランティアで詩吟を披露して下さいました。題目の情景説明もいただきながら、年季の入った発声にご利用者の笑顔と拍手が絶えません。



ボランティエ

寿扇会との交流会

4月5日、寿扇会の方が来荘されました。会場は、約100名の利用者様で盛り上がり、10曲の演目の披露に惜しめない拍手が送られました。子どもの舞踊には、よけいに目を惹かれ食い入るように見ておられました。



コーラスにじの会&銭太鼓の会との交流会



コーラスにじの会

5月25日、♪「リンゴのうた」「花」「青い山脈」など披露していただきました。「にじの会」の方といっしょに懐かしい歌を口ずさみながら、昔の思い出に浸られたようでした。その後、「銭太鼓の会」の軽快な演奏と踊りが始まりました。普段、あまり自分を出されない利用者様がリズムをとられる様子も見られ、楽しいひとときとなりました。



銭太鼓の会

職場紹介

総務課は、主事2名、管理栄養士1名、事務補助員2名、業務補助員1名、宿日直代行員3名の9名で構成しています。施設の庶務・経理全般、利用者様の栄養管理、施設の保全とそれぞれ業務の内容は異なりますが、全員が利用者様に、より快適に、より安心して生活していただけるよう、努めています。

ユニットに何う時、利用者様から「ご苦労さん」「たまにはゆっくりしていきなさいよ」等声をかけていただきます。利用者様と関わることの出来る時間が大変楽しみであり、何よりの励みになっています。新築移転後3年近く経過し、利用者様の皆様にも様々なご要望があるかと思えます。出来る限りご要望に応え、利用者様が「丹寿荘に来てよかった」と笑顔で生活していただける施設にしていきたいと思っています。

また、ご家族の皆様にはお目にかかる機会が少ないですが、来荘の折は、お気軽に声をかけていただき、ご意見・ご要望をお聞かせいただければ幸いです。



認食だより

毎月1日は「おついたち」で赤飯を提供しています。利用者様の多くが赤飯に思い出があるようで、とても喜んでいただいています。

毎月1回、寿司バイキングの日、施設に居ながら様々な土地を訪れた気分が味わえるように郷土料理の日、全国味めぐりツアー「駅弁の日」を行っています。

寿司バイキングは利用者様に好評で、6月には嚥下機能が低下している利用者様から寿司を食べたいとの希望に応え、ゼラチン寿司の提供をしました。

郷土料理

- 1月 網野のバラ寿司(京丹後市)
- 2月 助十(いなり、鯖・エビの押し寿司)
- 3月 吹き寄せ寿司(宮城県)
- 4月 黒豆入りバラ寿司(丹波市)
- 5月 かぼちゃほうとう(山梨県)
- 6月 ひつまぶし(愛知県)



黒豆入りバラ寿司

駅弁

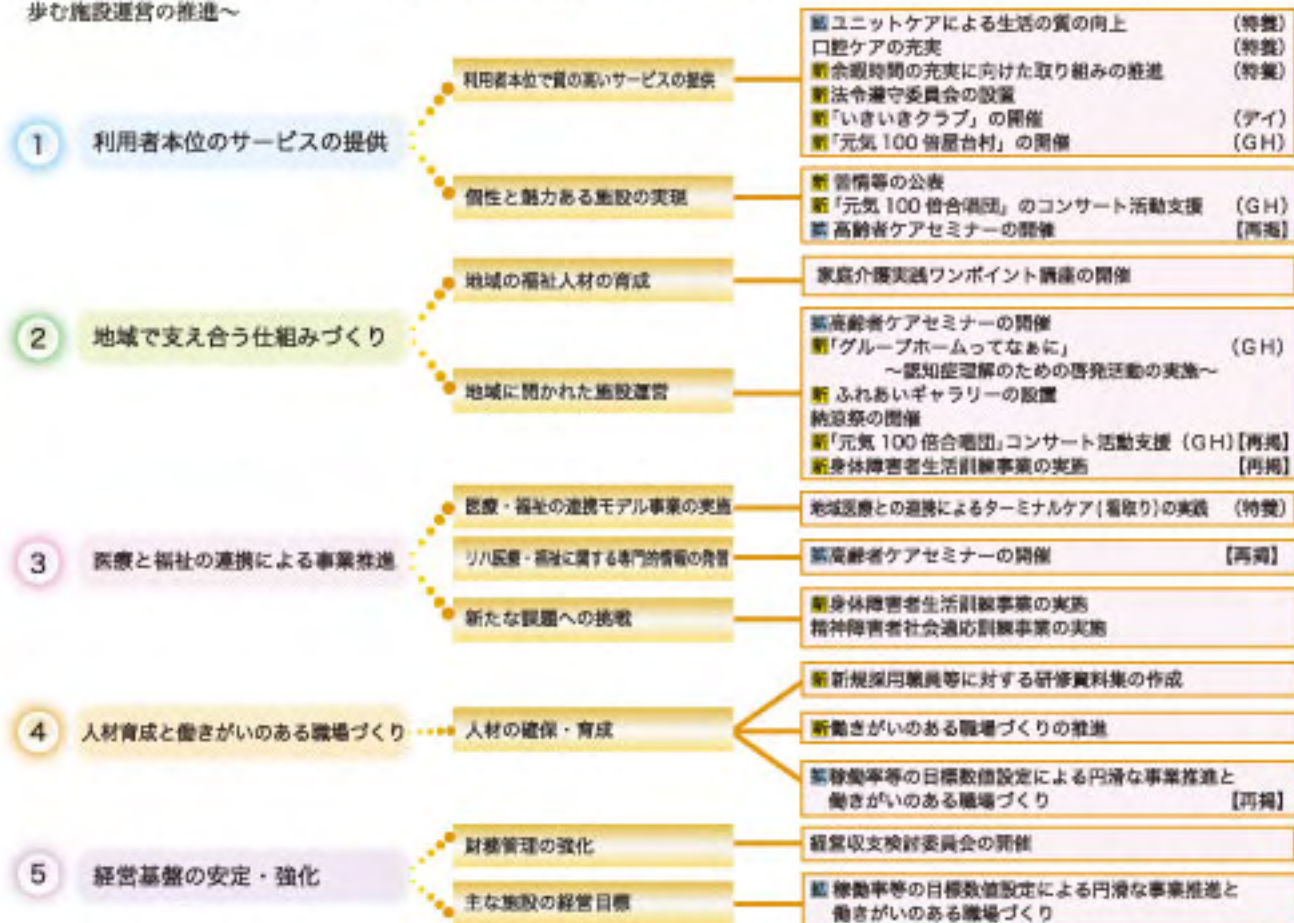
- 1月 釧路駅「釧路魚飯」
- 2月 横浜駅「横浜オムライス・シューマイ」
- 3月 御坊駅「子安いなり寿司」
- 4月 姫路駅「名代あなご寿司」
- 5月 岡山駅「祭り寿司」
- 6月 小田原駅「こゆるぎ茶飯」



こゆるぎ茶飯

平成22年度 丹寿荘事業体系表

～介護予防からターミナルまでを支える高齢者総合福祉施設として、満足度の高い個別ケアの提供と、地域に開かれ、地域とともに歩む施設運営の推進～



＜■は新規事業、■は拡充事業、特養は特別養護老人ホーム、GHはグループホーム、デイはデイサービスセンターを表す。＞

《寄せられた苦情やお褒めの言葉などの公表》

今年度の事業計画に新規事業として位置付けている「苦情等の公表」を行うこととしました。利用者様やご家族等から寄せられた苦情やお褒めの言葉などを施設内に掲示するとともに、機関紙にも掲載します。

ご意見・ご要望等に関する対応 (H22年4月～5月)

受付年月日	事業所名	ご意見・ご要望等の内容	対応内容
H22年4月4日	特別養護老人ホーム	昨年2月に入所してから外出の機会が少ないように思うが、花見等の外出はしないのか。	ご利用いただいているユニットでは外出支援を行っていましたが、ご家族との外出ができない利用者様などを優先して実施しておりました。また、そのユニットでは、昨年度の外出行の回数が少なかったこともあります。平成22年度は、外出支援の一層の充実を図ります。
H22年5月31日	特別養護老人ホーム	① 部屋で転んだ場合など、利用者に何かがあった場合は、昼夜を問わず、直ぐに身元引受人に連絡して欲しい。	① 明け方の5時頃に居室内で「しりもち」をつかれましたが、緊急を要するものではないと思い、約4時間後に身元引受人様に連絡させていただいたものです。連絡が朝方になり、申し訳ありませんでした。今後は、利用者様の状況をより適切に把握し、速やかな連絡に努めます。
		② 入院する場合の医療機関は、家族に相談してから決めて欲しい。	② このたびのことは、急を要することであったため、嘱託医との相談で入院先を決めさせていただきました。今後は、ケアカンファレンス時に希望される医療機関について再確認させていただくとともに、希望される医療機関に入院していただけるように努めます。

お褒めいただいた言葉 (H22年4月～5月)

受付年月日	事業所名	お褒めいただいた内容
H22年4月4日	特別養護老人ホーム	地域で開催された行事(さくら祭)に同地域出身の利用者様お二人が参加された際、近隣の方々に温かい言葉をかけていただき、利用者様お二人は大変喜んで帰られました。その後、地域の方々から、「私達はなかなか面会に行くことができなく、顔を見たいと思いつつ、そのままになっていった。今日、地域のさくら祭にお二人を参加させていただいたことで、久しぶりになつかしい顔を見ることができ、本当に嬉しかった。ありがとう」という感謝のお言葉をいただきました。

トピックス

丹寿荘だけのこを使って...

表紙のタケノコは、丹寿荘の建物内にある中庭に生えきました。早速、家族会総会下のお弁当に食材として使用しました。柔らかくて、とてもおいしかったです。

編集後記

平成22年1月創刊号を発行以来、半年間の施設での取り組みを掲載しております。今回からシリーズとして「職場紹介」、また、地域のボランティアや交流会の皆さまを順次ご紹介する予定です。

※写真についてはご本人の了承を得ています。